

平成21年3月30日

各位

会社名 株式会社カンセキ
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 静夫
 (JASDAQ・コード9903)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役管理部長 高橋 利明
 電 話 028-659-3112

平成21年2月期(第35期)業績予想の修正、特別損失の発生 及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成21年2月期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)の業績予想について、平成20年10月14日付当社「平成21年2月期中間期(連結・個別)業績予想との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたします。併せて特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩しに関してお知らせいたします。

1. 業績修正

平成21年2月期 連結業績予想の修正等(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	33,790	780	160	10
今回修正(B)	32,408	410	△142	△319
増減額(B-A)	△1,382	△370	△302	△329
増減率	△4.1%	△47.4%	—%	—%
(参考)前期実績 平成20年2月期	33,925	679	85	55

平成21年2月期 個別業績予想の修正等(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	33,300	750	160	15
今回修正(B)	32,009	413	△130	△304
増減額(B-A)	△1,291	△337	△290	△319
増減率	△3.9%	△44.9%	—%	—%
(参考)前期実績 平成20年2月期	33,759	679	91	62

修正理由

通期の業績につきましては、世界的な金融危機が、实体经济に波及し急激な景気後退をもたらしております。雇用情勢が不安定化する中で、消費者の購買意欲は一層冷え込みが厳しく、基幹事業であるホームセンター事業におきまして昨年の秋以降想定した売上高および利益を達成することが難しい状況となり、全社的に経費削減に努めましたが減少分を補うことができませんでした。また、個別業績において特別損失に特別調査費用として33百万円が発生するとともに、繰延税金資産41百万円を取崩したことにより、当期純損失を計上する見込みです。このような影響を反映し、上記記載のとおり通期業績予想を修正するものであります。

2. 特別損失の発生

平成21年2月期（個別）において、急激な消費者の購買意欲の冷え込みに対し外部からの検証を取り入れ中期的な経営計画ならびに事業戦略等の策定のための業務委託及び調査費用33百万円を特別調査費用として計上するものです。

3. 繰延税金資産取崩の理由

今回の業績修正を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩すことといたしました。その結果41百万円の法人税等調整額（税金費用）を計上いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上